

トゲフタオタマムシ *Dicerca tibialis* Lewis

【選定理由】

県内での生息基盤が脆弱で、主要生息地である豊田市猿投山等の環境悪化が懸念される。

【形態】

体長 15mm 前後。黒褐色で、黒紫または緑色の金属色を帯びる。上翅端部はわずかにえぐれ、両側が歯状に突出する。オスの中けい節には内方に鋭く細長い棘がある。

【分布の概要】

【県内の分布】

豊根村(大平ほか, 1980; 蟹江・戸田, 2008)、鳳来町(大田, 1982)、豊田市(河路, 1985)などの記録がある。

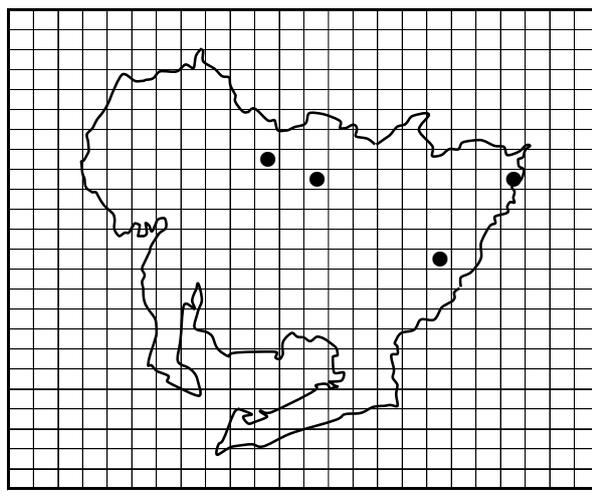
【国内の分布】

本州(関東以西)、四国、九州。

【世界の分布】

中国。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

モミ、スギ、ヒノキなどの針葉樹を寄主植物とするが、植林地での発見例は県内ではないようである。成虫は4月～7月に出現。スギの樹皮下などで成虫越冬する。

【現在の生息状況／減少の要因】

主要な寄主植物であるモミそのものが県内では少ないために、もともとの個体密度は低いものと思われる。豊田市と瀬戸市の境にある猿投山は県内でもっとも良く知られた生息地であるが、近年山林の乾燥化、それに伴うモミ林の衰退によって本種の生息が脅かされている。奥三河地方には広く分布していると思われるが、詳細な分布状況は現在のところ不明である。

【保全上の留意点】

モミ林を伴う自然林の保全。枯死木または枯枝は、特に危険がない限り林内に放置し、産卵場所を確保する必要がある。

【特記事項】

猿投山には本種以外にもモミに依存する多くの昆虫が生息しているが、その多くは周辺の生息地から孤立した状態にある。大都市名古屋近郊でこのような自然度の高い森林が残っていることは、存在そのものが貴重であり、保全に万全をきたす必要がある。

【引用文献】

- 大平仁夫・松野更一・山崎隆弘, 1980. 愛知県豊根村の動物, 鞘翅目: 195-220.
大田佳伸, 1982. 南設楽郡鳳来町でトゲフタオタマムシを採集. 三河の昆虫, 28: 119.
蟹江 昇・戸田尚希, 2008. 愛知県のタマムシ. 佳香蝶, 60 (234): 207-230.
河路掛吾, 1985. 愛知県内で採集したタマムシ3種. 佳香蝶, 37 (142): 30.

【関連文献】

- 穂積敏文, 1990. 愛知県の甲虫(Ⅱ). 愛知県の昆虫, (上): 232-308. 愛知県.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)